

くしまっ子

一矢に集中 県中学校秋季大会で初V



道場には練習でも張り詰めた緊張感が漂います

一矢入魂!

解説るぞ!



20.串間中学校女子弓道部(左から)

- うちだ あおい 内田 葵さん(1年)
- よしなり まな 吉成 真奈さん(2年)
- やまぐち ひな 山口 陽菜さん(2年)

串間中学校女子弓道部。3人とも中学から弓道を始め、吉成さんが主将を務める。県中学校秋季大会の弓道女子団体が初優勝を果たした。

弓から放たれた矢が的に刺さると同時に「ヨーシー」と部員たちの掛け声が響く弓道場で練習する串間中弓道部。11月に開催された県中学校秋季大会の女子団体が初優勝に輝きました。

28メートル先の的を狙い、3人が4本ずつ計12本を射的中数を競う団体戦には主将を務める吉成真奈さん(2年)、山口陽菜さん(2年)、内田葵さん(1年)の3人が出場しました。

団体戦の立ち順には、「大前・

中・落ち」というポジションがあり、一番に弓を引く「大前」として吉成さんが試合の流れをつくりまします。次に矢を放つ「中」を任せられているのが内田さん。流れをつなぎ、悪い流れなら断ち切ることが役割です。試合の勝敗が決まるプレッシャーがかかった状況で矢を放つ「落ち」は山口さんが務めます。

準決勝では、予選リーグで敗れた妻中と対戦。「予選で負けたので気楽に試合に臨めた」と競射までもつれこんだ接戦を制すと、決勝戦もそのままの勢いで競り勝ちました。

2年生二人が経験の浅い1年生をカバリーしながらチームワークで勝ち取った栄冠。秋の大会では九州大会などの上位大会は行われませんが、「夏の大会も優勝できるように練習し、東京で行われる全国大会に出場したい」と吉成主将。この大会でつかんだ自信を胸に、選手たちのチャレンジはまだまた続きます。



国土交通省での要望活動

東九州道早期整備へ全力で後押し

女性の視点で高速道の必要性訴え

ピンクの法被がトレードマークで、串間を中心とした県南地区の東九州自動車道の早期整備を目指す「串間のみちを考える女性の会」。会長を務める齊藤チヅ子さんを中心に100名を超える会員の皆さんが、女性の観点から高速道の必要性を国などに訴える活動を行っています。

会が発足したのは2007年7月。発足時の会長、財津さわ子さんが結成を呼び掛け、商工会議所やJ・A、建設業協会など各団体からメンバーが加入し活動を開始しました。

2009年に会長に就任し、設立時から活動に携わる齊藤チヅ子さんはこれまで地道な活動を続け、東九州自動車道「日南〜串間」志布志間の早期開通に向け、まい進してきました。道路関係の各種イベントには必ず姿を見せており、福岡や東京にも出向いて、東九州道の早期整備を要望する活動を積極的に行っています。

2014年からは毎年、女性の会単独での要望活動を自費で行い、今年も九州地方整備局や国土交通省に足を運んで、早期整備を訴えてきました。齊藤さんは「要望活動に行けば思っていることは遠慮なく伝えるし、男性社会によく見られるしがらみにとられないのが私

たちの強み」と話し、女性ならではの活動を展開しています。

同会は要望活動以外にも道路の景観整備事業にも力を入れており、美しい花で観光客をもてなそうと、2009年から都井岬の玄関口となる国道448号の沿道に、団体系や市民らと協力し市の花カンナやジャカラントの苗木を植栽しています。この活動が認められ、2015年に全国「みどりの愛護」のつどい県知事賞、2017年に宮崎県道路愛護運動推進協議会長表彰を受けています。さらに今年10月には、道路の美化活動などに取り組む「道守九州会議」で功労者表彰を受賞しました。

会の発足から11年。その間、東九州自動車道「日南〜串間」志布志間は、日南〜油津と鹿児島県側の夏井〜志布志が16年4月に事業化。今年3月には県南地区で初となる高速道路が「日南北郷〜日南東郷」間で開通し、着実に整備は前進してきました。「高速道路は串間が元気になるための起爆剤の一つ。串間のために、これからも思いをひとつに国に熱意を届けていきたいし、串間に開通する高速道路を運転できる日を夢見て頑張りたいですね」と齊藤さん。悲願である東九州道の全線開通に向け誰よりも熱い思いで活動を続けています。

地域おこし協力隊

活動日記

vol.20

「串間温泉いこいの里イルミネーション ~想いのバトンをつないで~」

世古 直之さん



今年、串間温泉いこいの里は、明るい! そんな声が聞こえている頃だと思います。

飾られている8万球のイルミネーションは、串間市出身で静岡県にお住まいの幹工務店・佐藤さん宅に毎年飾られていたもので、去年のクリスマスで終わりを迎えたことか

ら、譲り受け本城に運んできたものなので、譲り受け本城に運んできたものなので、

「串間温泉いこいの里の活性化に使用してほしい」という佐藤さんご夫婦の想いを高松地区の山下芳数さんが受け取り、本城地区再生・活性化推進協議会の方々がつなぎ企画して電気工事士さんなどさまざまな方々に協力をいただき今回、設置に至ったわけです。

文章にすると簡素に見えますが、山下さんと一緒に4トントラックで静岡まで引き取りに行ったり(フェリー乗り継ぎ(汗))、それをどう活用するかを本城地区の方々が何度も話し合ったりと、このイルミネーション設置に関わっている方々の想いの結晶がこのイルミネーションなんです。

地域おこし協力隊としての活動も3年目になりこの「想い」に関われることが一番嬉しく、楽しいことであり、地域課題の解決方法のヒントは、ここにあると強く感じています!

今年、本城地区・串間温泉いこいの里を行き交う人を明るく照らし、温泉で温まり気持ちが安らぐお客さんが増えてくれることを願っています。

幹工務店の佐藤智彦さん、清美さん(串間市出身)のご協力に感謝いたします。

齊藤 チヅ子さん (福島地区・上小路)

串間のみちを考える女性の会会長。東九州道の要望活動や市内道路の景観整備などに積極的に取り組む。衣料品・記念品店「サイカ屋」代表。



九州道守会議での表彰式



秋まつりでは毎年パレードに参加し市民にもPR



串間で活躍する人を紹介します

きらめき 図鑑

kirameki